

低速モビリティの活用事例

東京大学大学院新領域創成科学研究科
人間環境学専攻
鎌田 実

シルバービークル@秋田鷹巣1998



車いす仕様車2001



コムス@十王町 2003



コムス@越前大野 2010



コムス諸々@柏2011-14

製作した車両



ケアコムス



山コムス

©2014 Kubo Noboru/ Kamata, Shino and Nihei Lab., UT



里コムス



ママコムス



トマコムス

山コムス

(荷台カゴ+不整地タイヤ→軟弱狭小地面の山林内での利用)



ママコムス(後席子供2人乗り) 母子3人乗り自転車の置き換えを想定



トマコムス

(トマト収穫用・軽トラックが入れないようなあぜ道・畝用)



縦2人乗り 東京大学2人乗りコムス 超小型モビリティ認定車両



車いす使用家族の開業医等(駐車スペースが狭い)への送迎を想定

二番街中央部の歩行エリア（グリーンアクシス）に
全長500m弱の周回コースと乗用の3駅を設置



パークシティ
二番街



エレベーターの利用感覚で目的地まで
安心して移動できる 価値観を提示する



コミュニティ内を走行する 「自動走行型 コミュニ ティカート」の 予備実験@柏の葉2013

■ 内容：電動カートが電磁誘導線を敷設したルート上を自動走行する仕組みを設け、利用者には複数設置したステーションで車両呼び出し、行き先設定の操作と乗車を体験してもらい、「乗車感、受容性、実現性」等についてヒアリング調査する

■ 日時：10月11日（金）～17日（木）、7日間

10:00～12:00, 13:00～16:30

■ 場所：千葉県柏市若柴

パークシティ 柏の葉キャンパス二番街
「グリーンアクシス」

■ 主催：東京大学産学連携ジェロントロジー・ネットワーク



■ コース全長 : 475m
時計回り
周遊/一部分岐コース

■ ステーション : 3 駅 (北、中央、南)

■ 車両台数 : 2 台

時間帯によっては
走行ゾーンが
子供、自転車、
ベビーカーで溢れる



ママ友グループ



高齢者カップル



母娘



若夫婦

様々な利用者



ファミリー

被災地大槌での取り組み2013-4

- パーソナルモビリティの活用
セニアカー
電動アシスト自転車
コムス
- 新しいもの
6km/h超の電動車いす
ゴルフカート

■ 5/26 (土) 14:00-16:00 @ 旧赤浜小グラウンド

7車種
全9台



ローカルFMのレポーター



吉里吉里第4仮設に遠征中

■ 5/27 (日) 9:00-12:00 @ 小釜第12仮設

9:00のラジオ体操から仮設の皆さんへの仲間入り



旧県道での試乗会

大槌PM体験試乗会の様子

釜石警察署 (交通課長 他)、大槌交番所長 他の皆さんが体験試乗



ナンバー付きゴルフカート 2014

輪島

大槌



大槌での使用姿



愛知県豊田市の里モビサークル(コムスサークル) 2015～

- 超小型電気自動車を自分たちの手でいじって、地域の使用に適した仕様へ改造していく集まり
- 足助・旭で3か所の拠点。約10名がコアメンバ。
- 地域で30台以上のコムスを走らせている
- 活動はHP参照

<https://tyev.jimdo.com/>



地域の特性にあわせたカスタマイズ

コムス 活用事例 旭商工会

トマトコムスは
旭農協とシェア

トマトコムスを使って一言
 ■このトマトコムスは、農協と商工会で互いにシェアしています。
 住民の方へ届け物・地域会議案内など配達時、『ちょい乗りが便利で
 楽しく活用させて頂いています。』
 また、リサイクルセンターなど資源ごみの運搬などに活用中。
 今の時期は勇気がいりますが、春に向け配達が楽しみになってきますね。

旭地区の企業・商店・関係者(住民)へのリーフ配達



2人乗り 冬支度 製作紹介



【ご紹介】
高木 健 さん
(副店長)

クルマ大好き！
 生半香月から、コムスを
 好きの姿に「羨ましい」
 (凡そ羨望を覚わさるれい！)

収穫がごの感謝付け
 今年2人乗りコムスを
 メンバーと一緒に
 改造中！

旭地区のメンバーと
 前回は交流も広がった！

<事務局のコメント>
 山コムス、堂坂力のコムス
 両車でも試さ...
 数々の改善点を活かす
 感謝

「高木さんに一言」
 ガソリンの心配がない
 2人乗り、操作簡単
 乗り心地が楽
 (新型より)
 田舎の狭い道でも安心
 (程が嬉しいので)

【メーカーへの期待】
 走行距離、価格の
 改善はしてほしい





里ミニと里モビ



高齢者の移動具としての低速モビリティ

- 現状では免許有60km/hレベルと免許無6km/hレベル
- その間を用意しないと、車にしがみつ়くことになる
- これまでの実証等から、超小型モビリティやミニカーは、30km/hレベルの乗り物として近隣移動に適す
- ゾーン30など生活道路での混合交通は問題無し
- 10-15km/hレベルは電動アシスト自転車くらいしか今は無い。3輪自転車は転倒の心配がないので、有用であるが、下り坂はブレーキ力が十分出せないと怖いという評価も
- 海外で認められているクラス3の電動車椅子 (mobility scooter) が日本でも認められれば、15km/hレベルの有力な移動具となる。(免許の要否などの検討必要)
- 認知能力・身体能力が落ちてくると、6km/hレベルの移動具となるが、道路からの転落等の事故が起きている。(消費者庁の事故調の報告書)
- 電動車椅子でも自動運転や運転支援装置を盛り込むことにより、安全な移動を実現しうる。(ただし、コストの面から自己所有が難しければ共同利用等もありうる。無人回送が必要)



低速モビリティの今後へ期待！！

